

語順と基本文型-講義

→ [講義](#) [中国語ポータル](#) [lecture](#) [chinese](#) [overview](#)
https://study.bem130.com/lecture/chinese/overview/中国語ポータル-講義/

→ [定石集](#) [中国語誤りタグ体系](#) [reference](#) [chinese](#) [error-taxonomy](#)
https://study.bem130.com/reference/chinese/error-taxonomy/中国語誤りタグ体系-定石集/

1 導入

この講義の核心は、中国語では助詞ではなく語順そのものが文法関係を支える、という事実を最初に固定することである。日本語では「は」「を」「に」が役割を示すが、中国語では主語・動詞・目的語の並びそのものが骨格になる。

2 中心課題

なぜ「私は本を買う」をそのまま助詞順で移してはならないのか。なぜ [我/Wǒ][买/mǎi][书/shū]。の順序を先に固定しなければ、否定や疑問や時間表現も安定しないのか。

3 用語

- 主語: 誰が、または何が動作や状態の中心かを示す成分
- 動詞: 動作や状態を担う中心
- 目的語: 動詞の作用対象
- [SVO]: 主語 + 動詞 + 目的語 の基本配列

4 直感的な説明

中国語の基本文は、まず「誰が」「どうする」「何を」の3点で組み立てると安定する。

Display

Wǒ kàn shū.
我看书。

Tā xué Hànyǔ.
他学汉语。

Wǒmen tīng yīnyuè.
我们听音乐。

日本語の助詞を頭の中で補いながら読むと、語順の判断が遅れる。そのため、初学段階では SVO の骨格を最優先で固定する。

5 厳密な説明

5.1 1. 主語は文頭に置く

通常の平叙文では、主語を先頭に置き、その後動詞を続ける。ここで主語が曖昧なままだと、後続の成分も揺れやすい。

5.2 2. 目的語は動詞の後に置く

日本語では目的語を動詞の前に置くが、中国語では基本的に後置する。この差を吸収できないと、GRM誤りが連続する。

5.3 3. 修飾語は骨格の外側へ足す

時間や場所や程度の表現を入れる前に、まずSVOを完成させる。その後で副詞や前置成分を足すと、文意が崩れにくい。

6 最小の具体例

Correct

Wǒ mǎi kāfēi.
我买咖啡。

[GRM] 主語 → 動詞 → 目的語 の順序である。

Incorrect

Wǒ kāfēi mǎi.
我咖啡买。

[GRM] 日本語の語順を投影している。

Correct

Tā jīntiān xué Hànyǔ.
她今天学汉语。

[GRM] 時間表現を加えても、動詞と目的語の骨格は維持される。

7 見分け方

- 日本語に戻して「を」が見える成分が動詞の前にあるなら、まず語順を疑う
- 文を読んだとき、最初に「誰がどうする」が見えないなら、主語と動詞の位置を点検する
- 副詞や時間表現を足したとたんに混乱するなら、SVOの骨格を先に書き出す

8 どこまで成り立つか

この講義は平叙文の基本骨格を対象にしている。把構文や被構文、結果補語のような拡張形は後続章で扱うが、その場合でも基礎にあるのはSVOの設計感覚である。

9 最終形

Display

中国語の基本文はSVO

助詞ではなく語順が骨格を支える

修飾語は骨格の後で調整する

10 関連リンク

→ [講義](#) 是構文と有構文 [lecture](#) [chinese](#) [grammar](#)
<https://study.bem130.com/lecture/chinese/grammar/是構文と有構文-講義/>

→ [問題演習](#) 語順並べ替えドリル [exercise](#) [chinese](#) [grammar](#)
<https://study.bem130.com/exercise/chinese/grammar/語順並べ替えドリル-問題演習/>